



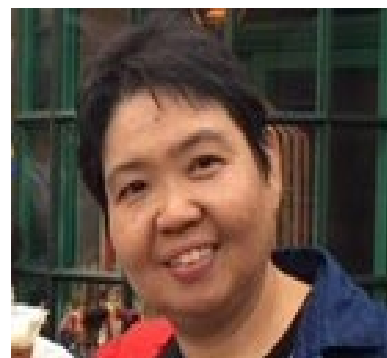
けやき会通信



お尋ねします。最近の検査値の数字を教えてください

臨床検査科 本多美奈子

糖尿病の初期、あるいは境界の段階では、糖尿病に特有な症状（口渇、多飲、多尿、体重減少など）がない事もあります。健康診断や他の病気の際に血液、尿検査を受けてはじめて「糖尿病ですよ」「糖尿病の疑いがあります」と診断されたのではないのでしょうか。気付かないうちに長期間血糖が高い状態が続くと、血管が傷つき、それが進行すると糖尿病の合併症（網膜症、病腎症、神経障害）が発症してしまいます。



みなさんが診察の前に受けている血液尿検査は、糖尿病の診断、血糖コントロールの状態、糖尿病合併症の有無などを調べる目的で行われています。検査を受けた後、診察中に医師から検査項目を見ながら数値の説明を受けていらっしゃるかと思います。

ではみなさんにお尋ねしますが、最近の血糖値、ヘモグロビン A1c の値、尿糖、尿タンパクをご存知ですか？と尋ねられたら、ご自分の名前、年齢、住所を言うようにお答えになれますでしょうか。たぶん、突然言われても、医者に言われたけど…覚えていないなあ、とお思いになられることでしょう。

そこで今回はみなさんにご自分の糖尿病の状態を確実に知る上で必要最低限の検査項目の意味などを勉強したいと思います。

みなさんに覚えておいていただきたい項目は、血糖値、ヘモグロビン A1c、血清尿素窒素、血清クレアチニン、尿糖、尿タンパクです。血糖値、ヘモグロビン A1c、血清尿素窒素、血清クレアチニンは、血液検査でわかり、数値で記載されます。尿糖、尿タンパクは、尿検査でわかりプラス（+）、マイナス（-）で記載されます。血液検査の各項目は、それぞれ、血糖値（Glu）、ヘモグロビン A1c（Hb A1c）、血清尿素窒素（BUN）、血清クレアチニン（CRN）というような略号で表示されます。

血糖値は、血液中のブドウ糖の濃度です。ヘモグロビン A1c は、血糖コントロールの指標で、過去1～2ヶ月間の血糖値の平均値を反映します。血清尿素窒素、血清クレアチニン、尿タンパクは、腎機能を反映します。尿タンパクは通常陰性ですので、陽性なら腎臓機能の悪化を示唆します。尿糖は、血液中の糖が尿中に排泄された分の糖ですが、一般に血糖値が160-180mg/dl を超えると尿糖が出てくると言われ、食後の高血糖があると陽性になりやすいです。これらの項目には、基準値があり、基準値より高いと血糖コントロールや腎機能が悪くなっている事がわかります。更に、治療の指標にもなります。検査結果を「高い、低い」と何となく記憶するよりは、数字（数値）として覚えていただく事で、ご自身の糖尿病の状況を確実に知る事ができ、合併症の予防と進展阻止につながるのではないかと思います。検査の結果を「数字」で覚えるように心掛けていただきたいと思います。

ではもう一度お尋ねします。最近の検査値の数字を教えてくださいませんか？

